

愛媛史上初!

4台のバロック鍵盤楽器による饗宴

バッハ 鍵盤音楽の多次源空間

武久源造



YAMAGUCHI Mariko



MIYAZAKI Takako



HAYATA Ken



TAKEHISA Genzoh

出演：武久源造、山口真理子、宮崎貴子、早田健

曲目：J.S.バッハ 2台の鍵盤楽器のためのコンチェルト ハ短調 BWV1060
3台の鍵盤楽器のためのコンチェルト 二短調 BWV1063
4台の鍵盤楽器のためのコンチェルト イ短調 BWV1065
《適正律クラヴィーア曲集》から

使用楽器：フォルテピアノ ゴットフリート・ジルバーマン 1747年モデル (深町研太 2007年作)
ジャーマン・チェンバロ クリスティアン・ツェル 1728年モデル (フィリップ・タイアー 1993年作)
フレンチ・チェンバロ パスカン・タスカン 1765年モデル (堀榮藏 1991年作及び1993年作の2台)

2019年10月4日(金) 午後7時15分開演 (午後6時45分開場)

松前総合文化センター 広域学習ホール

(エミフルMASAKIより南西500m 裏面に地図掲載)
伊予鉄道郡中線「松前」駅より徒歩10分
駐車場あり(松前公園内・係員の案内に従ってください)

一般 ¥3,000 (当日¥3,500) 学生 ¥1,500 (当日¥2,000)

※未就学児童入場不可
※学生=大学生以下・専門学校等(当日は学生証をお持ちください)
※障がい者(当日は手帳をお持ちください)と介助者1名様は、学生券でご入場いただけます。

チケット取扱い：松前総合文化センター マツヤマ楽器 マルイレコード

セブン-イレブン(マルチコピー機の「サービスメニュー チケットぴあ」から操作)

チケットぴあ(Pコード:153-999)(電話、パソコン、スマートフォン等から予約し、配達やコンビニで受け取れます)

※コンビニでの購入、チケットぴあでは、購入・支払・受取の方法によって、手数料・利用料・配送料などの別途費用がかかる場合があります。手続き・料金をお確かめの上で、ご予約・お買い求めください。

お問い合わせ：「杣人」バロック室内アンサンブル(宮武)

tel:050-3432-1443, e-mail:rmmsm_concerts@music.nifty.jp

チェンバロ体験会(無料)

ご希望のお客様を、翌10月5日(土)午前のチェンバロ体験会にご案内します(人数限定)。コンサート会場内にて申し込み。詳細は裏面へ。



pia.jp/t
0570-02-9999





武久 源造 たけひさ げんぞう <http://www.genzoh.jp/>

1957年 愛媛県松山市生まれ。1984年東京藝術大学大学院音楽研究科修了。

チェンバロ、ピアノ、オルガンを中心に各種鍵盤楽器を駆使して中世から現代まで幅広いジャンルにわたり、様々なレパートリーを持つ。特にブクステフーデ、バッハなどのドイツ鍵盤作品では、その独特の的確な解釈に内外から支持が寄せられている。また、作曲、編曲作品を発表し好評を得ている。音楽的解釈とともに、楽器製作の過程についても造詣が深く、楽器の構造的な特色を最大限に引き出す演奏が、楽器製作者たちからも高く評価されている。1991年「国際チェンバロ製作者コンテスト」(アメリカ・アトランタ)、また1997年(第7回)および2001年(第11回)「国際古楽コンクール〈山梨〉」、ほか多数のコンクールに審査員として招かれる。

ソロでの活動とともに、2000年に器楽・声楽アンサンブル「コンヴェルスム・ムジクム」を結成し、指揮・編曲活動にも力を注ぎ、常に新しく、また充実した音楽を追求し続けている。2002年から毎年、韓国からの招請による「コンヴェルスム・ムジクム韓国公演」を行い、両国の音楽文化の交流に大きな役割を果たした。

1991年よりプロデュースも含め40作品以上のCDを主にALM RECORDSよりリリース。中でも「鍵盤音楽の領域」(Vol. 1～9)、チェンバロによる「ゴルトベルク変奏曲」、「J.S.バッハ オルガン作品集 Vol.1」、オルガン作品集「最愛のイエスよ」、ジルバーマン・ピアノによる「J.S.バッハ パルティータ [全曲]」、16フィート弦付チェンバロによる「ゴルトベルク変奏曲」、「バッハの錬金術 Vol.1 ヴィオラ・ダ・ガンバと鍵盤楽器のためのソナタ全曲/二つのトッカータ」ほか多数の作品が、「レコード芸術」誌の特選盤となる快挙を成し遂げている。

2002年、著書『新しい人は新しい音楽をする』(アルク出版企画)を出版。2005年より鍵盤楽器の新領域とも言えるシンフォニーのピアノ連弾版に取り組み多方面から注目を集めている。2006年、NHKラジオ第1「ときめきカルチャー」コーナーに年間を通して出演。

1998～2010年3月フェリス女学院大学音楽学部及び同大学院講師。2012年、2013年、東京で上演されたラモールのオペラ『プラテ』、『レ・パラダン』にて音楽監督を務めた。また、ここ数年、ドイツ、リトアニア、アイスランド等の各国で、オルガン、チェンバロなどを駆使して、即興演奏を含む多彩なレパートリーによってコンサートを行い、注目を集めている。



山口 真理子 やまぐち まりこ

2歳よりヴァイオリンを、東洋英和女学院在学中よりオルガン始める。フェリス女学院大学および同大学院音楽研究科オルガン専攻修了。ヴァイオリンを故・鷲見康郎氏に、オルガン、チェンバロ、バロックヴァイオリン、アンサンブルを武久源造、桐山建志両氏に、ライアーを Kim Hong Chang 氏に師事。

バッハ:「マタイ受難曲」、ラモール:オペラ「レ・パラダン」、メンデルスゾーン:「パウロ」などに、バロックヴァイオリン、オルガン、ペダルチェンバロで参加。日本福音ルーテル大森教会オルガニストを経て、現在東洋英和女学院小学部オルガニスト・講師の他、ドイツの歴史的オルガンでのコンサート等、国内外にて活動。

CD:「バルダキン・オルガンの世界」ALCD1121(レコード芸術2011年4月号他特選盤) バッハ:協奏曲集第4集「未来系バッハへの道」ALCD1127(レコード芸術2012年2月号他特選盤)「Aqua Veritatis-真理の水-ヨーロッパの春 聖母マリアを讃えて」(東京カテドラル)



宮崎 貴子 みやざき たかこ <http://takakomiyazaki.com/>

東京音楽大学ピアノ演奏家コースおよび同大学大学院を経て、ドイツ・ハノファー音楽演劇メディア大学ピアノ科、同大学古楽器科卒業。同大学修士課程フォルテピアノ科修了。在学中、同大学オペラ科にて伴奏助手を務める。これまでにピアノを故・神野明、藤原亜美、播本枝未子、石井克典、倉沢仁子、ゲリット・ツィッターバルトの各氏に、フォルテピアノをG.ツィッターバルト、ツヴィ・メニカー、チェンバロをZ.メニカー、リート伴奏法をヤン・フィリップ・シュルツェの各氏に師事。

2013年シュベルト国際コンクールリートデュオ部門第1位(ドルトムント・ドイツ)ほか国内外のコンクールで多数受賞。ドイツ各地にてリート伴奏者、フォルテピアノ奏者、チェンバロ奏者として活躍。2014年帰国。数々のフォルテピアノリサイタル、レクチャーコンサート、リート伴奏など多彩な活動を展開しており、豊かな色彩感、躍動感溢れるダイナミックな演奏と楽曲に対する深い洞察力は国内外の誌上・紙上にて高い評価を得ている。

ピティナピアノコンペティションをはじめコンクール審査員もつとめ、後進の指導にもあたっている。ピティナWebサイト「鍵盤楽器事典」「ピアノ曲事典」に執筆。

ピアノ音楽誌「ショパン」にて《聴いてみませんか?弾いてみませんか?女性作曲家作品あれこれ》連載中。全日本ピアノ指導者協会正会員。女性と音楽研究フォーラム正会員。



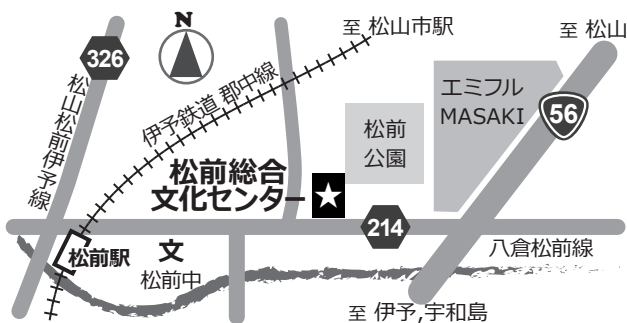
早田 健 はやたけん

愛媛県出身。

第41回全四国音楽コンクール高校の部第1位。同第42回高校の部第1位。ロゼ・ピアノコンクール2005一般の部第1位、並びにヤマハ賞受賞。アジア国際音楽コンクール大学の部第2位。2006年東京音楽大学卒業。卒業演奏会に出演。

第10回松方ホール音楽賞入選。2007年「協奏曲の夕べ」にて秋山和慶氏指揮・桐朋アカデミーオーケストラと、ブラムス ピアノ協奏曲第2番を共演。2008年桐朋学園大学院大学音楽研究科演奏研究専攻(修士課程)修了。

これまでにピアノを野島稔、長川晶子、西山洋美の各氏に、室内楽を岩崎淑、岩崎洸、藤原浜雄、新実徳英の各氏に師事。



IVOTETSU 間に合う電車

ゆき (15分毎)	高浜	18:13 発
	横河原	18:14 発
	松山市	18:45 発
	郡中港	18:44 発

かえり (30分毎)	松山市 方面	
	(高浜、横河原 方面)	松前 21:37 発
	郡中港 方面	
		松前 21:46 発

チェンバロ体験会 (レッスンではありません)

10月5日(土) 午前10:00~11:00
松前総合文化センター 広域学習ホール

18世紀までの鍵盤音楽で5分以内の曲(バッハ、ヘンデル、クーペラン、ラモ、ダカン、スカルラッチェ、ハイドン、モーツァルト等)を決めておいた上で、コンサート休憩中にロビー内の受付でお申し込みください。

★申込者多数の場合、時間の都合上、一部の方のご希望にはそえなくなります。予めご了承ください。